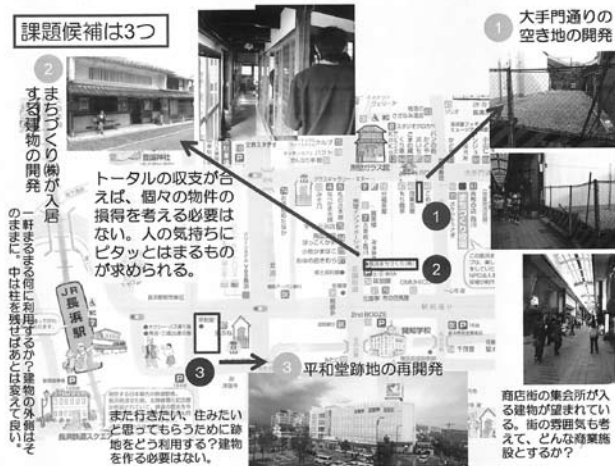


実社会で役立つ就業力養う プロジェクトがスタート

文科省「平成22年度大学生の就業力育成支援事業」に採択

キャリア教育の一環として、長浜商工会議所との連携による実践的な就業力を育成する事業が、10月からスタートしました。学内外での「魅力を発見・発信する」活動機会を通して、社会人としての基礎力と人間力を養うユニークな取り組みです。



願っています。

本学の魅力情報をお持ちの方はご協力をお願いします。

いるところ。よりよい発信スタイルを模索して

協力を、グループの仲間と

し多くの人に伝えます。グループの仲間と

愉快なサークル活動等々の魅力を発見し

陣・深いバイオの世界・多様な実験実習・

アットホームなキャンパス・ユニークな教授

私がこの魅力発見発信プロジェクトに参加してみようと思ったきっかけは、本学の魅力がパンフレットやホームページの紹介文にあるだけではないと考えたからです。バイオ大

学在学生の視点から見たキャンパスの魅力

をどんどん発見し、発信していきたいと思

います。



バイオサイエンス学科
1年生
高木 健一さん

1 回生による「長浜バイオ大学魅力発見・発信プロジェクト」は、他大学にはない本学ならではの魅力を、広告CMにまとめてホームページでの発信に取り組んでいます。グループ議論とヒアリングをもとにCMを企画、アートディレクターの指導も受け撮影・制作を進行させていきます。協働してプロジェクトを進める中で、統率力、感情抑制力や創造的思考力などを養成することを目的としています。選考後、最優秀グループは、オープンキャンパスで作品を発表する予定となっています。

2 回生の「長浜まちづくり魅力発見発信プロジェクト」は、長浜まちづくり株式会社から提起されたまちづくりの課題、「大手門通りの空き地の開発」

この経験をを通して協調性を身につけるだけでなく、新しい自分を見つけたらと思っています。

ます。

せつかくのチャンスなので思い切り楽しんでいます。

んでいます。めったに出来る経験ではないし

んでいます。右往左往しながらも楽しく取り組

用を考へていて、メンバーで様々な意見を出

私たちのチームでは、商店街の空き地利

させたいと意気込んでいます。

たことで、是非とも自分たちの企画を実現

を試みを聞いたり実際に長浜の町へ行ったりし

トでは、3〜4人でチームを組んで企画づ

くりを進めています。長浜の方の今までの

私が参加しているまちづくりのプロジェクト



アマールバイオ
サイエンス学科2年生
太田 成美さん

「平和堂跡地の再開発」、「まちづくり(株)が入居する建物の開発」にグループで取り組み、課題発見力や計画立案力を身につけることをめざしています。現地調査やヒアリングで、長浜にまた来たい、住みたいと思えるような企画立案をめざしています。トータル収支は考慮するものの自由度の高いプロジェクトであり、学生ならではの若い発想法に地元から期待が寄せられています。

1 回生は11人、2 回生は12人が参加。担当の松島三郎先生は、「プロジェクトを経験して、他ではできなかったことが、この授業ではできて自信がつか」と話す学生もいる。自分の枠を超えるきっかけとなり、社会で通用する力に身に付けば」と話しています。